

九経調創立 70 周年記念事業
鹿児島県の未来を考えるシンポジウム

「鹿児島の未来の 交通インフラを考える」

2018年11月15日(木)

13:30~16:30 (開場 13:00) 定員 100 名

会場：城山ホテル鹿児島
2階 アメジストホール 鳳凰

(鹿児島市新照院町 41 番 1 号 TEL:099-224-2211)

参加費
無料

プログラム

第1部 基調講演

「次の時代の交通インフラと
モビリティマネジメント」

講師 藤井 聡 氏

京都大学大学院工学研究科 (都市社会工学) 教授



京都大学レジリエンス実践ユニット長、ならびに 2012 年より安倍内閣内閣官房参与 (防災減災ニューディール担当)。1968 年奈良県生駒市生。京都大学卒業後、同大学助教授、東京工業大学教授等を経て現職。専門は都市計画、国土計画、経済政策等の公共政策論のための実践的人文社会科学的研究。著書「プライマリーバランス亡国論」「国民所得を 80 万円増やす経済政策」「国土学」「超インフラ論」「凡庸という悪魔」「大阪都構想が日本を破壊する」「大衆社会の処方箋」「巨大地震 X デー」等多数。朝日放送「正義のミカタ」、関西テレビ「報道ランナー」、文化放送「おはよう寺ちゃん」「週刊ラジオ表現者」に解説者としてレギュラー出演中。表現者クライテリオン編集長。

お申込・お問合わせ先

(公財)九州経済調査協会事業開発部・BIZCOLI
TEL : 092-721-4909 担当：牟田・岡野
九州経済調査協会のウェブサイト (www.kerc.or.jp)
又は、裏面の FAX 用紙にてお申し込みください。

インバウンドの拡大や奄美の世界遺産登録に伴う交流の拡大、農産物輸出への対応など、社会は大きく変化しています。加えて、自動運転技術や高度道路交通システム (ITS) など、モビリティの技術も日々進化しています。これらを支える交通インフラも対応が必要です。

本シンポジウムでは、鹿児島の拠点性を高め、地域創生に繋げるために、30 年先の将来を見据えて今後どのような交通インフラの構想が必要なのか、皆さまとともに考えます。

第2部 パネルディスカッション

「鹿児島の未来を見据えた
交通インフラのあり方について」

パネリスト

増田 博行 氏

(国土交通省大臣官房技術総括審議官)

岡本 孝志 氏

(岡本産業 代表取締役社長・株式会社オキス代表取締役)

武盛 武士 氏

(武盛グローバルコンサルティング代表)

片山 礼二郎

(九州経済調査協会 調査研究部長)

アドバイザー

藤井 聡 氏

(京都大学大学院工学研究科教授)

コーディネーター

福留 一郎

(九州経済研究所 経済調査部長)

主催：株式会社鹿児島銀行 株式会社九州経済研究所
公益財団法人九州経済調査協会

後援：鹿児島経済同友会

鹿児島の未来の交通インフラを考える

下記を記入し、FAX (092-721-4908) でご送付いただくか、九州経済調査協会のウェブサイト (www.kerc.or.jp) からお申し込みください。

参加者①	
会社名・団体名	所属・役職
ふりがな お名前	住所
電話番号	E-mail
参加者②	
会社名・団体名	所属・役職
ふりがな お名前	住所
電話番号	E-mail
参加者③	
会社名・団体名	所属・役職
ふりがな お名前	住所
電話番号	E-mail

11月12日(月)迄にお申し込み下さい

- 3名以上参加される場合は、この参加申込書をコピーしてお申し込み下さい。
- 個人情報のお取り扱いについて
ご記入いただきましたお客様の個人情報は、公益財団法人九州経済調査協会において、本シンポジウムの円滑な運営の為のみ利用させていただきます。
- お問い合わせ先
(公財)九州経済調査協会・BIZCOLI 担当：牟田・岡野
福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 3F TEL: 092-721-4909 FAX: 092-721-4908